公益財団法人 高知県人権啓発センター 季刊誌

こころんだより

2022 冬号 Vol.23

こころん

高知市追手筋のオーテピア1階「オーテピア高知声と点字の図書館」には、音声の本や点字の本などバリアフリー図書がいっぱい！障害理解につながるさまざまな展示もあります。

※写真は、周囲に利用者のいないことを確認したうえで点字ブロック付近で撮影しています。

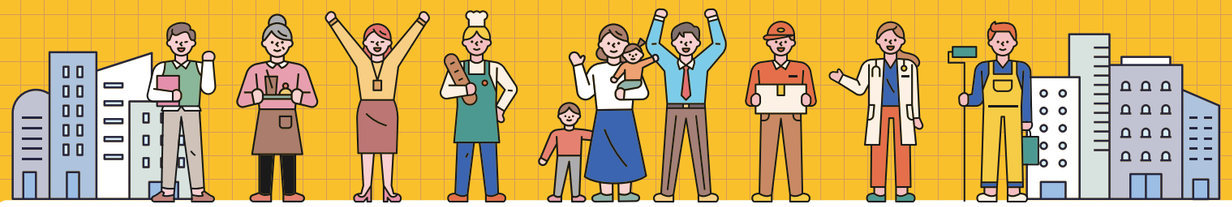
特集1 みんなが働きやすい高知県を目指して
～ よりよい職場環境づくりを推進 ～

特集2 おでかけこころん 知っていますか?点字の世界
～ 障害支援と社会参画ツールの広がり ～

みんなが働きやすい高知県を目指して

～ よりよい職場環境づくりを推進 ～

文：高知県商工労働部 雇用労働政策課



1. 高知県ワークライフバランス推進企業について

ワークライフバランスに取り組む企業を県が認証

高知県では、働くすべての方々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方の実現に向け、ワークライフバランスの推進に積極的に取り組む企業を「高知県ワークライフバランス推進企業」として認証しています。

5つの部門で取り組みを評価

認証制度には、「次世代育成支援部門」「介護支援部門」「年次有給休暇の取得促進部門」「女性の活躍推進部門」「健康経営部門」の5部門があり、令和4年10月1日現在、454社を認証しています。

県では、認証企業の紹介やその取組内容をホームページに掲載しています。県民の皆さまも、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業をぜひ応援してください。

■ 次世代育成支援部門
子育て支援に取り組む企業を認証

■ 介護支援部門
仕事と介護の両立支援に取り組む企業を認証

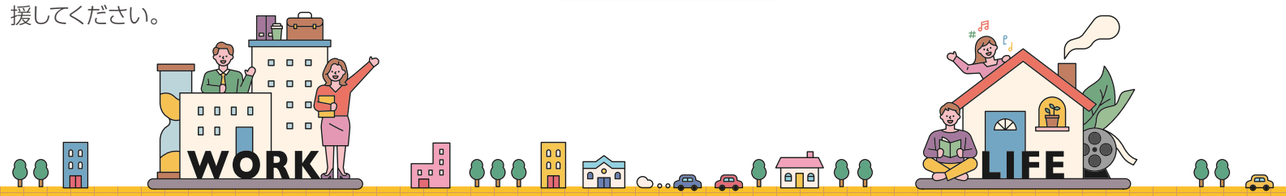
■ 年次有給休暇の取得促進部門
年次有給休暇の取りやすい職場環境づくりに取り組む企業を認証

■ 女性の活躍推進部門
女性がいきいきと働く職場環境づくりに取り組む企業を認証

■ 健康経営部門
従業員の健康づくりに取り組む企業を認証

ワークライフバランスの推進に取り組んでいます
WORK LIFE BALANCE OFFICE
高知県ワークライフバランス推進認証企業

認証企業一覧はこちら！



2. カスタマーハラスメントについて

企業や労働者へのハラスメントに関する調査で「カスハラ」が上位に

令和2年10月に厚生労働省が全国の従業員30人以上の企業・団体を対象に行った調査では、過去3年間にハラスメントについて労働者から相談があったと回答した企業の割合は、パワハラ（48.2%）、セクハラ（29.8%）に続いて、カスハラ（19.5%）が高くなっています。

カスタマーハラスメント（略称カスハラ）とは、「顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為」のことです。

同調査の労働者に対する調査においても、過去3年間に勤務先で顧客等からの著しい迷惑行為を一度以上経験したと回答した割合は、15.0%となっており、こうした行為に悩む企業、労働者は少なくありません。

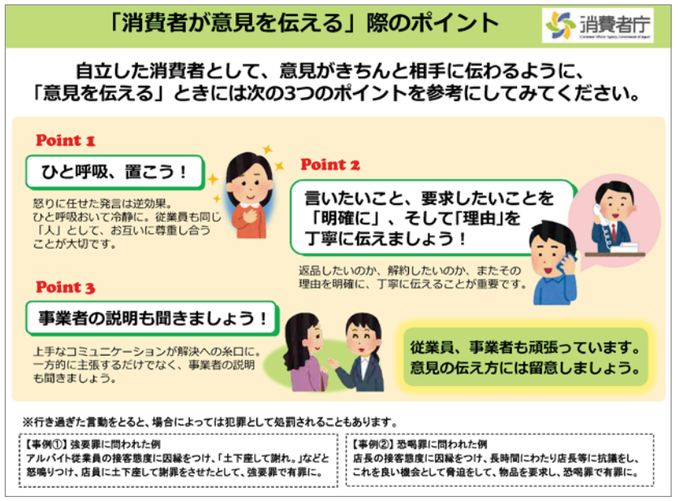
消費者が意見を伝える際には

消費者でもある県民の皆さまが、商品・サービスや接客態度・システム等に対して不平・不満を訴えること自体は、業務改善や新たな商品サービス開発につながるものでもあり、より良い社会の発展につながるという意味で重要であるといえます。

しかしながら、消費者からの行き過ぎた言動は、従業員に過度に精神的ストレスを感じさせるとともに通常の業務に支障がでるケースも見られるなど、企業や組織に金銭、時間、精神的な苦痛等、多大な損失を招くことも想定され、場合によっては犯罪として処罰されることもあります。

消費者が意見を伝える際のポイントは以下のとおりです。商品・サービスや接客態度・システム等に対して不平・不満を訴える際には、行き過ぎた言動がないようみんなで気を付けていきましょう。

カスタマーハラスメント対策ポスター（厚生労働省）



「消費者が意見を伝える」際のポイント（消費者庁）

「消費者が意見を伝える際のポイント」（高知県県民生活課HP）

▶ この記事に関するお問合せ先　高知県商工労働部 雇用労働政策課　☎ 088-823-9764

特集2
おでかけこころるん

知っていますか？点字の世界

～ 障害支援と社会参画ツールの広がり ～

点字は、視覚障害のある人が自分で読み書きができるようにと作られた文字です。エレベーターや手すり、家電製品や商品パッケージなど、私たちの生活のいたるところに点字は使われています。この点字にまつわるお話と、視覚障害者をはじめ文字や本などを読むことに困難がある人の支援について、オーテピア高知声と点字の図書館をこころるんが訪ね、お話を伺いました。

◀ お話してくれた人
オーテピア高知
声と点字の図書館
坂本 康久 館長

点字で名刺を作る体験コーナーで「こころるん」の名刺を作成！

デイジー図書の再生機

カラー拡大読書器

点字は、視覚に障害のある人が読み書きできる大切な「文字」

点字は指先で触って読み取る文字で、1つの字を6つの浮き出た点の組み合わせで表します。

1	4
2	5
3	6

点字の1マス

そのルーツは、なんと軍事用の暗号（！）。19世紀初め、フランスの砲兵大尉シャルル・バルビエが夜の戦場でも触ってわかるようにと、浮き出た12の点を考案したのが始まりです。それがフランスの盲学校に紹介され、当時生徒であったルイ・ブライユが、その生涯をかけてアルファベットや数字、音楽記号などを6点の配列で表す点字を開発しました。

ブライユの点字は今や世界中に広がり、全盲の人が唯一読んだり書いたりできる文字として使われています。

未来を照らす希望の光となるように

日本に点字が入ってきたのは明治時代です。盲唖学校の教員であった石川倉次が、ブライユの点字をもとに50音を6点で表す方法を考案し、それが1890年、正式に日本語点字として採用されました。

このときの逸話をひとつご紹介します。石川倉次の日本語点字は、まず母音である「あいうえお」の基本形を決め、そこにか行、さ行など行ごとに決まった点を加えていくという規則性があります。その中で、「め」という字は6点すべてを使った点字になっています。これは決して偶然ではなく、「この点字が視覚障害者の目となり、光となるように」という願いを込めて、最初に決められたというのです。点字に託された想いの深さが伺い知れるエピソードです。

視覚障害だけでない「読書困難」という問題

さて、私たちオーテピア高知声と点字の図書館では、点字に翻訳された「点字図書」や人の声で読み上げる「録音図書」、デジタル録音図書の国際標準規格に準拠した「デイジー（DAISY※）図書」などで、紙に印刷された文字を読むことが困難な人の読書をサポートしています。

その対象は、視覚障害者だけではありません。知的障害や発達障害、学習障害、あるいは加齢や病気などで文字や本を読むことが難しい人や、手指や体幹の障害で本を持てない、ページがめくれないという人もいます。こういった読書困難のある人は実は高知県内だけでも数万人いると言われており、支援の必要性が高まっています。

※Digital Accessible Information SYstemの略。アクセシブルな情報システム

誰もが読書を楽しめる社会へ

近年は、読書困難の背景にある多様な障害などに対応した「マルチメディアデイジー図書」も増えています。これは、音声・テキスト・画像が入ったユニバーサル設計のデジタル図書。声と点字の図書館では、専用の再生機とセットでこれらの図書を対象者に貸し出しています。貸し出し・返却方法は主に郵送（無料）で、障害者手帳がなくても電話などの聞き取りで読書困難であるとわかれば利用可能です。

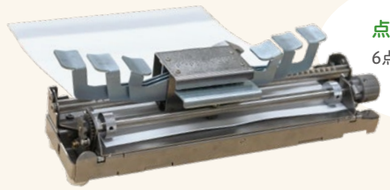
一人でも多くの人が読書の喜びや楽しさを受け取れるよう、サポートを広げていきたいと考えています。

発見こころるん

館内で見つけたいろいろなサポートツールをご紹介！

さわれる布絵本
お話だけでなく
さわり心地も楽しめるね。

ユニバーサルデザインのルービックキューブ
凸凹や質感を頼りにそろえていくよ。



点字タイプライター
6点点字だから文字盤は6つ！

障害をサポートする道具や方法も
社会のあり方も、時代とともに
進化しているんだね！

オーテピア高知声と点字の図書館

住所／高知県高知市追手筋2-1-1　TEL／088-823-9488

「すべての人を本の世界へ」という考えのもと、さまざまなバリアフリー図書や支援機器の提供で、読書困難な人の読書をサポートしている。また、バリアフリー図書の製作などを行うボランティア活動を支援し、多様な障害に対応した読書環境の充実に力を注いでいる。

参考資料：黒﨑惠津子『点字 はじめの一歩』汐文社（2018）

第２回　ハートフルセミナー

講演会「テレビ災害報道の裏側と人権」を行いました

実施日：令和4年10月30日(日)14時～16時 ／ 参加者：92名
講　師：笠井 信輔 さん(フリーアナウンサー)
会　場：高知県立人権啓発センター６階ホール

長くフジテレビアナウンサーとして活躍されていた笠井さんは、阪神淡路大震災や東日本大震災の現場へいち早く駆けつけ「伝える」使命を果たされていました。フリーとなられた今は、講演という形で災害報道の役割を語り続けられています。

今回は「災害報道と人権」という視点から、テレビでは伝えられない現場の裏側や、伝える立場としての葛藤などを率直に語られました。真実を伝えることと人権を守るために伝えられないこともあること、常にせめぎ合いながら、公益性、公共性を基本としながら人権を大切にした報道をしていること。また、コロナ禍での入院生活の経験から「#病室Wi-Fi協議会」を立ち上げた現在の活動のことまで、笠井さんの巧みな話術に聴き入りました。

じんけんライブラリーで貸し出しています

■『生きる力 引き算の縁と足し算の縁』
笠井 信輔(著)／KADOKAWA

■『増補版 僕はしゃべるためにここ(被災地)へ来た』
笠井 信輔(著)／新潮文庫

ふりかえりシートより

○日々目に触れている報道が人権や公共性などに基づいて行われていることについて、またそこにある苦悩についても認識を新たにしました。
○笠井さんの熱い話に聞き入りました。報道と人権の難しいせめぎ合いを感じました。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。
○「伝えるべきか、救うべきか」の話が心に残りました。人権と報道、なんでもそうですが、「事実」と「正義」と「人権」を考えなければいけないと思いました。
○切り口もおもしろく、大変勉強になる内容でした。知らないことをたくさん学べることができた研修会でした。人権感覚の重要性をあらためて考えることができました。

こころん着ぐるみ、活躍中！

市町村や地域団体主催の人権啓発イベントなどで、こころんの着ぐるみが集客やPRに一役買っています！

報告1　香南市広報誌「こうなんNOW」2022年11月号の表紙

香南市広報誌「こうなんNOW」の表紙に、こころんが登場！
香南市観光PRマスコットと一緒に「香南市にじいろのまち宣言」をPRしました。

報告2　第18回米こめフェスタ

人権啓発コーナーで、啓発リーフレットやチラシの配布をこころんが一緒にお手伝い！特に子どもたちに大人気で、啓発活動も盛り上がりました。

実施日：11月6日(日)
場　所：四万十町(四万十緑林公園)
担　当：四万十町町民課

報告3　にじいろのまちALLYフェスタ

多様な性のあり方への理解促進とALLY(アライ:理解者)の輪を広げるためのイベントに、こころんが参加！登場回数を急きょ増やすほどの人気ぶりでした。

実施日：11月6日(日)
場　所：高知市(イオンモール高知)
担　当：高知市人権同和・男女共同参画課

みなさまの地域や各種行事等でもぜひご活用ください！　お問合せをおまちしています。

2023年
1月22日(日)　14:00～16:00 ※受付13:30～　講演会

令和4年度　人権啓発研修　第3回ハートフルセミナー

講演会「障害があるとはどういうことだろうか」

参加費無料
定員100名(予約優先)

講師　**坂井 聡(さかい さとし) さん**
(香川大学教育学部教授、香川大学教育学部附属坂出小学校及び幼稚園の校園長、香川大学バリアフリー支援室室長)

会場　**高知県立人権啓発センター 6階ホール**

講師よりメッセージ

専門は「障害児の教育方法」や「障害児のコミュニケーション指導」です。教育現場に身を置きながら実践的な研究を進めています。また、ICTを活用した支援のあり方についての研究も実施し、昨年度は、ソフトバンクとの共同研究で、国際デザイン賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞しました。

著書は、『知的障害や発達障害のある人との コミュニケーションのトリセツ』(エンパワメント研究所)、『発達障害のある子の学びを深める教材・教具・ICTの教室活用アイデア』(共著、明治図書出版)など。ぜひ一緒に学びましょう。

2月12日(日)　14:00～16:30 ※受付13:30～　上映会

令和4年度　人権啓発研修　第4回ハートフルセミナー

映画「くちびるに歌を」上映会

参加費無料
定員120名(予約優先)

会場　**高知県立人権啓発センター 6階ホール**

作品紹介　**孤独なピアニストと離島の生徒が奏でる最高の合唱(うた)。“15歳”だったすべての人へ**

長崎県・五島列島の中学校。天才ピアニストと噂される柏木ユリは音楽教師として数年ぶりに故郷に戻り、合唱部の顧問としてコンクール出場をめざすことに。ユリは部員に“15年後の自分”へ手紙を書く課題を出す。そこには15歳の少年少女が抱える悩みと秘密が綴られていた。「勇気を失うな、くちびるに歌を持て、心に太陽を持て」のメッセージがひたむきな歌声とともに心に響く。

■ 132分／日本語字幕付き　■ 出演：新垣結衣　木村文乃　桐谷健太　他
■ 監督：三木孝浩　■ 原作：中田永一『くちびるに歌を』(小学館)
■ 主題歌：アンジェラ・アキ「手紙～拝啓 十五の君へ～」(EPICレコードジャパン)

お申込み・お問合せは…
公益財団法人 高知県人権啓発センター　〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日を除く)
TEL 088-821-4681　FAX 088-821-4440　Eメール center@kochi-jinken.or.jp
【申込方法】電話・FAX・Eメールで、以下の情報をお知らせください。
氏名／参加人数／代表者の連絡先 (日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

じんけんライブラリー情報

じんけんライブラリーでは、図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)、DVD・VHS、人権啓発パネルの貸出を行っています。

新着DVD紹介

そのドア、自動で 開きますか?～マジョリティの立場から人権を考える～
(企画：東京都教育委員会　制作：㈱CNインターボイス／40分)

イキイキ働くためのコミュニケーション・シリーズ　㈱アスパ・クリエイト
心理的安全性 第2巻 **心理的安全な職場をめざして～メンバー向け～**
【オフィス編】【作業着編】(各30分)

職場のコミュニケーション・スキル　第1巻
アンガーマネジメント 上手な怒りとの付き合い方 (23分)

職場のコミュニケーション・スキル　第2巻
アサーション　上手な気持ちの伝え方 (25分)

ご活用ください!

出張します　人権研修のための出前講座 (講師派遣料無料)

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。
多彩なテーマやプログラムがあります。

「じんけんライブラリー検索」はこちら
所蔵図書・DVDの検索ができます。ご利用ください。
http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/

県民の皆さまへ

1 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めましょう

12月10～16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。
拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害についての関心と認識を深めましょう。

令和4年度北朝鮮人権侵害問題啓発週間周知ポスター

2 人権に関する実態の公表

県では、高知県人権尊重の社会づくり条例第2条第2項に基づき、県民の方々に身近に存在している人権課題に気づいていただくことを目的として、人権に関する実態の公表（「高知県の人権について」）を行っています。
「高知県人権施策基本方針ー第2次改定版ー」で県民に身近な人権課題としている11の人権課題及びその他の人権課題について、人権侵害の実態や人権尊重への取組などをまとめています。
ぜひご覧ください。

▶ お問合せ先　高知県 人権・男女共同参画課　☎ 088-823-9804

ご利用案内

6F ホール（収容人員 270名 机併用の場合は180名）

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間　9:00～21:00（年末年始を除く）

基本使用料（平日）			平日時間外	土・日・祝日
午前	午後	全日	1時間あたり	
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00		
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

- 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円
- 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。
- Wi-Fiも利用できます。

6F ホール

5F じんけんライブラリー（利用無料）

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間　月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）　9:00～17:00

利用方法
- 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
- 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。（送料は利用者負担）

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内

5F じんけんライブラリー

団体図書貸出（こころんブック便）について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

1F 入口看板

4F 視聴覚室（利用無料／収容人員 48名）

人権に関する研修等にのみ使用できます。

「こころん」は高知県人権啓発センターのマスコットキャラクターです
★ 着ぐるみの貸出もしています

令和4年12月発行（年4回発行）
発行：公益財団法人 高知県人権啓発センター
制作・印刷：有限会社ファクトリー

公益財団法人
高知県人権啓発センター
ホームページ: www.kochi-jinken.or.jp

Webで情報発信中！

［事務局］〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL：088-821-4681 / FAX：088-821-4440 / E-Mail：center@kochi-jinken.or.jp
〈開所時間〉月～金 8:30～17:15（祝日・年末年始を除く）

●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分